

**コメント**

1. **伝染性紅斑**

定点当り1.21人と増加しています。安芸区3.0人、中区、佐伯区ともに2.3人と特に多く、西区1.3人となっています。

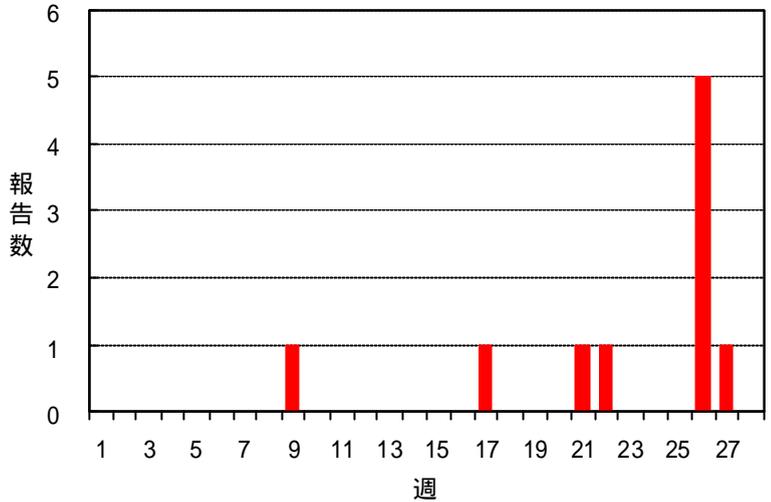
2. **ヘルパンギーナ**

定点当り4.25人とやや増加しており、第21週以降増加が続いています。安芸区16.5人、佐伯区8.3人と特に多く、南区4.0人、東区3.0人となっています。

3. **腸管出血性大腸菌感染症**

第26週に5件、第27週に1件の報告があり、今年の合計は10件となりました。気温、湿度ともに高く、細菌の繁殖しやすい時期となりましたので注意が必要です。

腸管出血性大腸菌感染症 (2006年第27週まで)



**5類感染症報告状況 (定点把握対象分)**

疾患名	報告数	定点当り	平過去5年(注1)間	発生記号	疾患名	報告数	定点当り	平過去5年(注1)間	発生記号
インフルエンザ(注2)	3	0.08	-		麻疹(注3)	-	-	0.05	
咽頭結膜熱	16	0.67	0.42	↗	流行性耳下腺炎	21	0.88	1.44	↘
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	25	1.04	1.15	↗	RSウイルス感染症	-	-	-	↘
感染性胃腸炎	128	5.33	3.78	↗	急性出血性結膜炎	-	-	0.03	
水痘	27	1.13	1.39	↓	流行性角結膜炎	6	0.75	0.90	
手足口病	10	0.42	11.64		細菌性髄膜炎	-	-	-	
伝染性紅斑	29	1.21	0.76	↗	無菌性髄膜炎	4	0.57	0.91	
突発性発しん	17	0.71	0.84		マイコプラズマ肺炎	3	0.43	0.14	
百日咳	-	-	0.04		クラミジア肺炎(注4)	-	-	-	
風しん	-	-	0.01		成人麻疹	-	-	-	
ヘルパンギーナ	102	4.25	5.03	↗					

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1.2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1.1.5~2の増減
微増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1.1.1~1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

報告数が少ないなど、傾向の判断が不適切と思われるものについては、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注1)過去5年間の同時期平均(定点当り)  
 (注2)高病原性鳥インフルエンザを除く  
 (注3)成人麻疹を除く  
 (注4)オウム病を除く

**1類 ~ 5類感染症報告状況 (全数把握対象分)**

類型	疾患名	報告数	累積	備考
3	腸管出血性大腸菌感染症	1	10	女性(10歳未満)・O26

## 5類感染症報告状況の推移 (定点把握対象分)

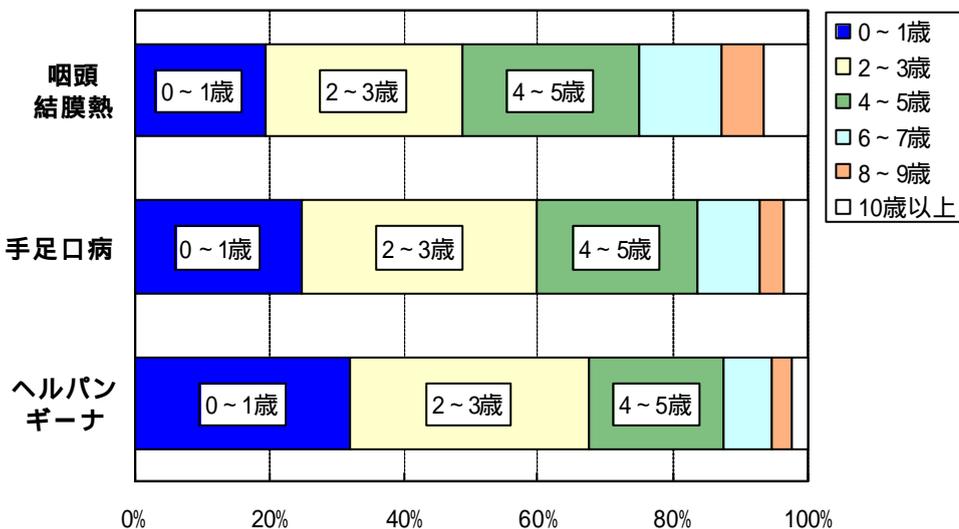
報告数	定点当り	週	インフルエンザ (注1)	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん(注2)	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(注3)	成人麻しん
広島市		第23週	8	24	62	125	79	8	9	20	1	1	35	1	34	-	1	4	-	2	5	-	-
		第24週	11	21	45	133	85	9	19	23	1	-	44	-	29	-	-	3	-	1	8	-	-
		第25週	20	16	36	109	66	11	21	22	1	-	68	-	31	-	-	2	-	9	10	-	-
		第26週	15	13	32	138	55	5	17	15	-	2	76	-	27	-	-	6	-	5	3	-	-
		第27週	3	16	25	128	27	10	29	17	-	-	102	-	21	-	-	6	-	4	3	-	-
広島市		第23週	0.22	1.00	2.58	5.21	3.29	0.33	0.38	0.83	0.04	0.04	1.46	0.04	1.42	-	0.13	0.50	-	0.29	0.71	-	-
		第24週	0.30	0.88	1.88	5.54	3.54	0.38	0.79	0.96	0.04	-	1.83	-	1.21	-	-	0.38	-	0.14	1.14	-	-
		第25週	0.54	0.67	1.50	4.54	2.75	0.46	0.88	0.92	0.04	-	2.83	-	1.29	-	-	0.25	-	1.29	1.43	-	-
		第26週	0.41	0.54	1.33	5.75	2.29	0.21	0.71	0.63	-	0.08	3.17	-	1.13	-	-	0.75	-	0.71	0.43	-	-
		第27週	0.08	0.67	1.04	5.33	1.13	0.42	1.21	0.71	-	-	4.25	-	0.88	-	-	0.75	-	0.57	0.43	-	-
全国		第25週	0.65	1.36	2.21	3.74	2.31	1.16	0.72	0.76	0.01	-	3.56	0.01	1.74	-	0.04	1.23	0.03	0.09	0.46	0.01	-
		第26週	0.49	1.28	1.86	3.50	2.20	1.35	0.79	0.83	0.02	0.01	4.24	0.01	1.74	-	0.03	1.24	0.02	0.08	0.39	0.01	-

(注1)高病原性鳥インフルエンザを除く (注2)成人麻しんを除く (注3)オウム病を除く

## 新たに判明した病原体検査結果

診断名	患者年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
無菌性髄膜炎	5	男	2006/05/29	咽頭拭い液 髄液	エコーウイルス18型
上気道炎	0	男	2006/05/22	咽頭拭い液	エコーウイルス18型
肺炎	2	女	2006/05/20	咽頭拭い液	ヒトメタニューモウイルス
肺炎	4	男	2006/05/23	鼻汁(拭い液)	ヒトメタニューモウイルス
肺炎	2	女	不明	咽頭拭い液	ヒトメタニューモウイルス
不詳	0	女	不明	髄液	エコーウイルス18型

## 【参考】夏季に流行する疾患の年齢階層別構成比 (2001年～2005年)



咽頭結膜熱、手足口病、ヘルパンギーナは、ともに夏季を中心に流行するウイルス性の疾患で、主に5歳以下の乳幼児に発生します。

2001年～2005年の集計では、24定点医療機関からの報告数は多い順に、手足口病(9,642人)、ヘルパンギーナ(4,727人)、咽頭結膜熱(1,374人)となっています。

図に示した疾患別の年齢階層別構成比では、低年齢層の占める割合が最も高い疾患は、ヘルパンギーナで、次いで手足口病、咽頭結膜熱の順となっています。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページをご覧ください。

URL <http://www.city.hiroshima.jp/shakai/eiken/center.html>

### 【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号  
TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail [eiken@city.hiroshima.jp](mailto:eiken@city.hiroshima.jp)

2006年第27週 (7月3日～7月9日)